

全世代対象の認知症普及啓発

事業名	認知症普及啓発事業		
ここがポイント	認知症のある方などの意見を聞きながら、全世代に向けた認知症体験イベントやワークショップなどを実施し、共に支え合う社会の実現を目指します。	予算額	1,646 千円
		区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 臨時 (<input type="checkbox"/> 新規 ・ <input type="checkbox"/> 継続) <input type="checkbox"/> レベルアップ <input type="checkbox"/> 継続

認知症は、今や誰にとっても身近な、自分自身や家族もなりうる時代です。認知症のある方などの意見を取り入れた、全世代を対象にした認知症体験イベントやワークショップなどを通じて、「新しい認知症観^(※)」について理解を深める機会を提供し、共に支え合う社会の実現を目指します。

※「新しい認知症観」とは…

認知症になっても個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができるという考え方

全世代対象の認知症普及啓発 概要

ユマニチュード講座（5月）の実施

フランスで開発された「ユマニチュード」の考え方を学ぶ講座を区民や事業者向けに実施します。ユマニチュードとは「あなたのことを大切に思っています」ということを相手にわかりやすく伝えるためのコミュニケーション技術で、介護の負担を減らし、地域で共に生活するための基盤づくりにも役立ちます。

小学生向け認知症普及啓発事業（7月）

VRによる認知症体験などにより、認知症等の高齢者を温かく見守るきっかけづくりとなる機会を提供します。少人数で、親子で楽しみながら、認知症に対する理解を深めます。

認知症月間(9月)におけるイベントの実施

認知症のある方や、みなと認知症サポートステーション（※認知症への理解を促す取組を行う店舗や事業所等）などの企業と協働し、全世代に向けて、認知症を「自分ごと」として捉えられるイベントを開催します。

●講演会

認知症のある方や家族が発信する声を通して、共に支え合いながら生活する地域をつくります。また、認知症のある方の活動や社会参加の機会にもつながります。

●映画上映とAR体験

映画やARを通して、新しい認知症観について理解を深める機会を提供します。AR体験では、現実の風景にデジタル情報をリアルタイムで合成し、認知症体験を行います。



問合せ	高齢者支援課（高齢者相談支援係）		
	課長：白石（しらいし）	03-3578-2390	
	係長：羽場（はば）	03-3578-2407	